

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 7年 3月 28日

事業所名 ウイズ・ユー結城1組

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	・十分にスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	9	0	・十分に配置している。	・配置基準＋児童指導員加配＋αのスタッフを配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0	・玄関のみ段差があり、その他は段差が内容配慮されている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	・活動に合わせて行う空間を考慮して行っている。 ・毎日清掃を行い、環境を整えている。	・児童が使用するものは常に綺麗に使用できるよう配慮している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9		・月に1回会議を開き、業務改善を図っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	・年に1回評価を実施し、業務改善に努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	・集計しホームページに公表している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	0		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	・LINEで受けられる研修を共有してくれている。 ・定期的に研修に参加している。 ・研修の内容など書面で回覧されている。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	・契約時に使用している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9		・個別支援契約の共有と共に支援へ反映して実施している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		・内容や難易度を職員全員で話し合いながら決めている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	・前月の内容を確認し、曜日固定やプログラムが固定にならないよう考えて考案している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0	・個別課題に取り組み、かつ集団活動にも参加できるようにしている。	・児童が楽しんでプログラムに参加し、療育への意欲が向上できるよう配慮している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	・プログラムの際、配慮すべき児童に対応する職員など事前に検討し決定している。 ・午前中に申し送りの時間を設定している。 ・午後のパート職員が出勤する時間にも申し送りの時間を設定している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	・送迎終了時や記録をう入力する時間帯に話し合いを行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		・記録漏れがないよう毎日確認している。 ・見たり、聞いたりした内容は共有するようにしている。	・管理者が記載内容を把握し、記載内容のニュアンスが違う場合はその都度指示を出している。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		・定期的にモニタリングを行い、見直しを行っている。 ・モニタリングの結果は書面にて回覧されている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	・事業所内で情報共有し、管理者が参加している。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	0		
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	1		・医療と連携が必要な児童が利用した際には連携ができるよう努めていく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	2	・そのような児童はいないが、子ども達のかかりつけ病院の情報を情報シートにまとめている。	・医療と連携が必要な児童が利用した際には連携ができるよう努めていく。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	・必要に応じて連携を図っている。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	・必要に応じて連携を図っている。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0		
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	1	・外出時や戸外活動時に交流する機会がある。	・保育園や幼稚園、認定こども園との交流の機会は模索しています。障害のない子どもとは公園で一緒に遊ぶことがある。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	2		・参加の意思あり。自立支援協議会に申し出ていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	・送迎時や連絡帳・LINEで子どもの様子などを伝達している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	9	0	・保護者様からの相談に対し助言等を行っている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	・契約時や質問があった時に説明をしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	・自分1人で分からない時は他の職員や上司と話し合い、助言や支援が行えるようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0	・年に1回、保護者会を実施している。	・保護者会内での保護者様同士の関わりの重要さを感じる。引き続き、保護者様同士の交流の場の提供を検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	・相談などがあつた際は、LINEで全体に共有し、対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	・おたよりやプログラム表を月に1回保護者様に配布している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	・鍵付きの書庫で管理している。 ・不要な個人情報はシュレッダーにて処分している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	・イラストを使用したり、言葉遣いに配慮している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1	・地域のお祭り等に参加している。	・事業所の保護者様用駐車場がない為、どのように実行するべきか検討中。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	・マニュアル検討委員会を中心に行っている。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		・2か月に1回プログラムに組み込んでいる。 ・避難訓練の結果は書面で回覧されている。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0	・かかりつけの病院などを情報シートに記入してもらっている。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0		
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	・書面を回覧して共有している。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	・虐待防止委員会を中心に行っている。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0	・管理者から保護者様に説明し、契約書にも記載している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。